



南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035

練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <https://www.nerima->

[tky.ed.jp/minamigaoka-j/](https://www.nerima-tky.ed.jp/minamigaoka-j/)

令和7年度 第7号 令和7年10月17日発行



成功は失敗の中に生きている！

校長 宮田 健史

インフルエンザの流行により文化発表会を中止としました。天高くハーモニーを響かそうと、日々合唱に取り組んでいた生徒たちは、大きな目標を失い、がっくりと肩を落としています。その無念さや悔しさは、痛いほど伝わってきます。

本校では、春に運動会、秋に文化発表会を実施します。これらは本校の二大行事として、生徒だけでなく、保護者や地域の方も楽しみにしています。でも、なぜ教科の学習ではない行事に学校全体で取り組むのでしょうか。言い方を変えると、なぜ受験に関係がなく、やらなくてもいい行事に取り組むのでしょうか。

少し堅く言うと、これらの行事は「特別活動」として呼ばれ、文科省の学習内容等を定めた学習指導要領に目標が示されています。よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力（生きる力）を身に付けるために、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を柱に「実際に行動・活動することによって学ぶ」ことを通して、新たな学習や生活への意欲につなげたり将来の生き方を考えたりすることとあります。要するに、運動会や文化発表会などを通して（事前・当日・事後の活動全体の意）「生きる力」を培うための重要な活動です。

閑話休題。今月になり、日本人のノーベル賞受賞者のニュースが入ってきました。生理学・医学賞に大阪大学の坂口志文先生、化学賞には京都大学の北川進先生が選ばれました。理科を教えていた身としては、誇らしさを感じながら、新聞を目にしました。その中で、お二人の先生の研究過程がよく似ていることに気づきました。

坂口先生は「研究は長年信じてもらえず『眉唾』ものとされた。」（読売新聞）、北川先生は「当初は国際会議などで「気体が入るとは信じられない」などと厳しい批判を何度も浴びた。」（読売新聞）とありました。二人の研究者は流行や成果を上げている課題ではなく、「自分が大切にしたいもの」を「信念を持ち続け、やり抜いた」のです。ノーベル賞は、オリジナルの新しい発見や発明への賞ですから、それがあたり前かも知れません。しかし、苦勞して書いた論文が認められない、研究費がない中で研究を続ける努力は、並大抵では無かったはずで、思い通り行かないことに何回も出会いながらも、自分が大切にしていた考えと同じことを研究している仲間と一緒に、道を歩み、大きな勲章を手に入れました。

今年度の文化発表会は学年毎での発表会となりました。生徒たちは、当初の文化発表会で得ようとしたものは手に入らずに成ったかもしれません。でも、クラスで一つのものを作ろうと目指し努力を重ねた時間、どうしたら良いハーモニーになるか、歌詞が聞き手に伝わるか、工夫したり考えをぶつけ合ったりした経験、これらは必ず一人一人の生徒の生きる力になっています。

どの学校も「学ぶ場」であり、「学び」ができます。中でも、総合的な学習の時間や特別活動には、正解はありません。だから、やり方、考え方、表し方、友達と関わりなど、これらの活動は想像通りにはなりません。失敗するのです。そして、そこから学ぶ力（レジリエンス）—— 失敗から学ぶ、失敗を未来のチャンスに変える —— を育てることが、ねらいです。

生徒たちは、文化発表会の中止を未来の何に生かすのでしょうか。楽しみにしています。



●文化発表会の中止●

「天高く 届け僕らのハーモニー」をスローガンに全校で準備していた10月11日(土)第47回文化発表会は、インフルエンザの猛威で実施した学年閉鎖などの影響を受け、残念ながら中止の判断に至りました。但し、これまでの努力の成果を共有するべく、各学年での発表会を企画し、他学年も鑑賞することにしました。学年毎に全校生徒の投票で「オーディエンス(聴衆)賞」を選びます。E組や海外派遣、吹奏楽部も全校生徒の前で発表する機会も確保しました。体調には十分に気を付け、全てのクラスや団体が熱いパフォーマンスをしてくれることを期待します。



【プログラム「実行委員長あいさつ」】

今年の文化発表会のスローガンは「天高く 届け僕らのハーモニー」。秋晴れの青い空のどこまでも高く自分たちの歌声を響かせ、クラスの仲間とゼロから作り上げたハーモニーを届けようという思いが込められています。

皆さんの中には「練習が足りない、もっともっと練習したかった」という思いから、本番で緊張してしまう人がいるかもしれません。しかし、切磋琢磨し合ったこれまでの努力を自信に変えて、堂々と歌いましょう。

僕たち実行委員は、これまで先輩方がしてきたように、全体の計画や準備、クラスへの連絡や調整など、文化発表会を成功させるために、多くの時間を費やしてきました。それに加え今年は、スライドのロゴを自分たちで作成したり、カラフルにしたりなどの工夫を加えました。これまでの実行委員の働きを「1」とするならば「1.1」にすることができたと思います。

一人一人の力が結集した今日という日を、存分に堪能してください。

●発表の動画配信について●

各学年・クラスの発表の様子は、記録動画を生徒タブレットPCで配信する予定です。期間については準備ができ次第お知らせいたします。ご覧になる際は、ご家庭の中でお楽しみいただき、決してインターネット上に掲載することのないようお願いいたします。生徒の肖像権や演奏曲の著作権を守る観点から、ぜひご協力をお願いいたします。

●部活動の活躍● (敬称略)

【男子ソフトテニス部】

第62回練馬区中学校総合体育大会ソフトテニス新人大会

<個人戦>

9月14日(日)

優勝

(都大会個人戦出場決定)

第6位

<団体戦>

9月15日(月) 予選 9月21日(日) 決勝

優勝

(都大会団体戦出場決定)

【男子バスケットボール部】

10月4日(土)

第2回チャレンジカップ 優勝

大会優秀選手

